近畿大学 KINDAI UNIVERSITY × ADVENTURE WORLD

NEWS RELEASE　　２０２６年１１月６日

パークで暮らす動物たちの糞を堆肥化して栽培した「近大ＩＣＴイチゴ」１１月１５日（日）「いい（１１）イチゴ（１５）」にちなみイチゴの山、約１０ｋｇをアフリカゾウへプレゼント！





アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）と近畿大学（大阪府東大阪市）は、１１月１５日（日）の「いい（１１）イチゴ（１５）」と読む語呂合わせにちなみ、パークで暮らす動物たちの糞から作った堆肥を活用して栽培した「近大ＩＣＴイチゴ」をアフリカゾウにプレゼントするイベントを、２０２６年１１月１３日（金）～１１月１５日（日）の３日間、開催いたします。なお、収穫したイチゴを動物たちのおやつとして活用するのは今回が初めてです。

「近大ＩＣＴイチゴ」は、両者の産学連携活動の一環として、パークで暮らす草食動物の糞から作った堆肥を活用し、近畿大学農学部（奈良県奈良市）が里山ものづくり村のハウスで「近大ＩＣＴ農法」により栽培したイチゴ（品種：とちおとめ、紅ほっぺ）です。２０２５年９月から栽培を開始し、２０２６年１月には初収穫を迎え、その後研究室で冷凍保存してきました。動物たちの糞を資源として活用し、ＩＣＴを用いて育てたイチゴが、今度は動物たちのおやつへ。アドベンチャーワールドが産学連携でめざす循環型パークの取り組みとして、「いのちから生まれたものが、次のいのちへつながる」という循環を、ゲストの皆様にもご覧いただけるイベントです。

【イベント概要】



動物たちの糞から作った堆肥を活用して栽培した「近大ＩＣＴイチゴ」を、約１０ｋｇの「イチゴの山」にしてアフリカゾウ２頭にプレゼントします。長い鼻を器用に使って食べる様子をぜひ間近でご覧ください。

・開催日　：２０２６年１１月１３日（金）～１１月１５日（日）
・時間　　：午前１０時４０分～午前１１時００分
・場所　　：サファリワールド　アフリカゾウエリア

※イベントの観覧は無料ですが、別途入園料が必要です。また動物の体調や天候により内容を変更する場合がございます。
※１１月１３日（金）は、イチゴ栽培に携わった近畿大学農学部の学生らも参加します。取材を希望される報道関係者の皆様は、事前に下記までご連絡ください。

■近大ＩＣＴイチゴについて



アドベンチャーワールドのパーク内で暮らす草食動物の糞から作った堆肥を活用し、近畿大学農学部が「近大ＩＣＴ農法」で栽培したイチゴです。ＩＣＴ技術を活用して温度や水分などを管理することで、パーク堆肥を用いても、腐葉土で栽培したイチゴと変わらないおいしさを実現しました。

２０２５年９月から栽培を開始し、２０２６年１月に初収穫。今回は動物たちの暮らしから生まれた資源を活用し育ったイチゴを、再び動物たちのおやつとして届けます。

近畿大学 KINDAI UNIVERSITY × ADVENTURE WORLD

■近大ＩＣＴ農法について

近畿大学農学部は、少子高齢化に伴う農業従事者の減少や休耕地、耕作放棄地の増加といった社会問題を解決するため、「近大ＩＣＴ農法」を利用した栽培管理方法の確立をめざしています。一般的に、農業は個人の経験や勘に頼ることが多く、所得確保の不安定さが問題とされています。そこで農作物の栽培に必要な温度調整などの管理機能にＩＣＴ（情報通信技術）を導入することで、農業初心者でも容易に栽培管理できるようになり、一定以上の収穫量の確保が期待されます。

「近大ＩＣＴ農法」では、土壌センサーと日照センサーを連動させた装置によって、作物に水分と液肥を自動的に供給します。これらの情報は蓄積され、スマートフォンなどで遠隔地からもデータを確認することができます。また、ハウス側窓の自動巻上げ機が温度センサーと連動しており、ハウス内の温度をほぼ一定に保つために自動的に開閉します。このような完全自動化肥培管理システムの導入により、農作業の時間を大幅に削減するとともに、水や液肥の使用量を低減でき、収穫量の増加と品質の安定化につながることが期待されます。

平成２９年度（２０１７年度）からは、近畿大学農学部農業生産科学科 教授（アグリ技術革新研究所兼務）野々村照雄が中心となり、奈良キャンパス内のＩＣＴ設置温室で、農学部生とともに「近大ＩＣＴメロン」を栽培しています。令和３年（２０２１年）９月からは「近大ＩＣＴイチゴ」の栽培にも取り組んでいます。

これまでも、近大ＩＣＴメロンの栽培にアドベンチャーワールドの動物の堆肥を活用するとともに、栽培の過程で生じる摘果メロン（果実を大きく甘く育てるために１株１果に間引いた未成熟なメロン）を動物たちの食事として提供してきました。令和８年（２０２６年）１月には、パークの動物の堆肥を初めて用いて栽培した「近大ＩＣＴイチゴ」を収穫し、今回、そのイチゴを動物たちのおやつとして活用します。これらの栽培マニュアルは、毎年、新たな農学部生　へと受け継がれていきます。

■近畿大学との産学連携協定について

世界で初めてクロマグロの完全養殖に成功した近畿大学（大阪府東大阪市）と、アドベンチャーワールドを運営する株式会社アワーズ（大阪府松原市）は、２０１７年３月、展示・希少動物の繁殖のための共同研究をはじめとする産学連携に関する協定を締結しました。

～これまでの近畿大学との産学連携～

２０１７年１２月　バンドウイルカとキングペンギンの人工授精へ向けた共同研究がスタート
２０１９年　６月　「野生動物の保全」を学ぶアクティブ・ラーニング講義を開講
２０２０年　３月　キングペンギンの人工授精に成功
２０２２年　４月　コラボ商品第１弾「ぱんだの手むきみかんバウム 近大みかん使用」販売開始
２０２２年　５月　近大ＩＣＴメロンの摘果を動物の食事として提供　※以降毎年提供
２０２２年　８月　コラボ商品第２弾「パンダフレンズ ぽっぷこーん 近大柑橘・ブラッドオレンジ使用」販売開始
２０２３年　６月　近大ＩＣＴメロンの摘果を動物の食事として提供
２０２３年　８月　コラボ商品第３弾近大マンゴーを使用したスイーツを販売　※以降毎年販売
２０２３年１２月　コラボ商品第４弾「こんがり仕上げたパンダの米粉フィナンシェ -近畿大学附属農場で栽培したお米-」販売開始
２０２６年　１月　動物糞を堆肥化して農業分野へ有効活用　近大農学部生がその堆肥を活用して栽培したイチゴを初収穫
２０２６年　７月　摘果メロンがゾウのごちそうに！ 近畿大学との産学連携で、食の循環を学ぶフィーディング体験を開催しました

ADVENTURE WORLD

「いのちを見つめ、問い続ける。いのちの美しさに気づく場所。」 紀伊半島の豊かな自然に抱かれたアドベンチャーワールドは、１２０種１，６００頭の動物たちが私たちのパートナーとして共に暮らす、いのちの美しさに出会える場所として、数々の新しいエデュテインメント体験をお届けしています。なかでも、日本で唯一となる、１０種類４７０羽のペンギンたちが共に暮らす光景は、いのちの多様性とそのあたたかさを実感できる特別な光景です。動物たちが放つ力強いいのちの息吹、その「愛おしさ」を五感で感じる体験は、私たちが大きな生命の循環の一部であることを再確認させてくれます。単なるエンターテインメントの枠を超え、心が動く体験を通じて明日を生きるエネルギーを呼び起こす、全く新しい学びと癒やしの場となるように 。驚きや感動の先に生まれる気づきが、「だれもがキラボシな世界を創る」一歩となると信じて、アドベンチャーワールドはこれからも世界中のいのちとSmileの共創を続けてまいります。

■所在地　：和歌山県白浜町
■面積　　：８０万平方メートル
■オープン：１９７８年４月２２日
■運営会社：株式会社アワーズ

■公式HP　：https://www.aws-s.com
■X　　：https://x.com/aws_official
■Facebook　：https://www.facebook.com/adventureworld.official
■Instagram　：https://www.instagram.com/adventureworld_official
■YouTube　：https://www.youtube.com/c/adventureworld_official
■TikTok　：https://www.tiktok.com/@adventureworldofficial











